

後志総合振興局 御中

顧客データ連携プラットフォーム（基盤）2023年度 報告書

ニセコ東急リゾート株式会社
2024/04

構想:

顧客データ連携プラットフォーム（基盤）による観光地域の課題解決 【通年型観光地への変容】

目指す姿と位置づけ:
北海道が掲げるSociety5.0の実装

人口減少や少子高齢化が全国に先駆けて進行する道において、
・地域の人手不足解消や雇用の確保、
・新たなサービス創出及び地域の活性化の課題解決
を目的にIoT技術と観光ビッグデータによりSociety5.0実装に取り組む。

具体的には

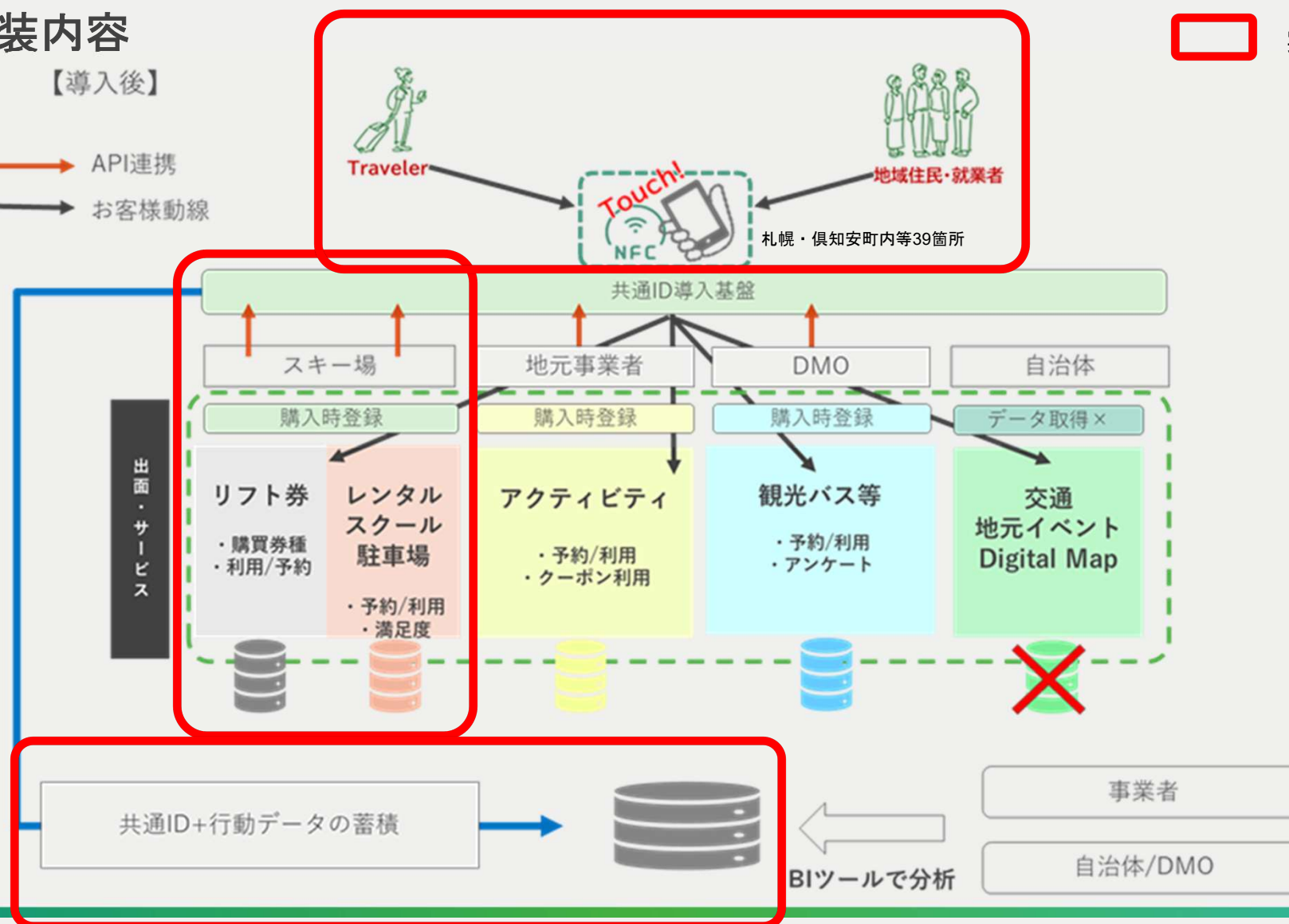
NFCタグによるIoT技術と地域の事業者が持つお客様データを紐づけ
観光ビッグデータとして蓄積出来る仕組みを、
地域事業者のアライアンスにより実現し、
マーケティング施策や地域経済の活性化を推進する。

23年度実装内容

【導入後】

→ API連携
→ お客様動線

 実装済部分



データ連携サービス

■データ連携サービス

- リフト券（ひらふ/花園券）の購入情報（連携元：ROOMBOSS社）
- ひらふの当社スキー場における スキーレンタル、スクール予約の購入情報（連携元：東急リゾーツ&ステイ社）

→これらに取得によりひらふスキー場エリアの主要なデータ取得が可能に。



- ✓ 本ツールは「地域の事業者」が異なるツールを導入している（=CRM目的）ところを、行政やエリア単位で顧客の共通ID付与することで、エリア全体の観光マーケティング促進に資する（=CDPへの昇華）もの。
- ✓ 顧客コミュニケーションツールとしてLINE連携も可能で、既存システムとの繋ぎこみ（API連携）ができれば、取得したい情報に応じた活用方法の提案が可能。

運用状況（設置写真）



ウェアレンタル



リフト券販売

推進・拡張における今後の課題

- 2023年度は、QRコード付きNFCタグをスキー場エリア内に設置し、利用者がQR読み込みorNFCタッチ後に、簡単なアンケート回答およびリフト券購入やレンタル申し込みをすることで、利用者のIDが統一化されエリア全体でのお客様の動きを見える化するための基盤実装を行った。
- 24年度以降、趣旨理解の上参加いただける店舗を拡幅することで、とれるデータの種類が増えるため、お客様の利用促進（PR）とあわせて参加施設の増加が必要。
- スキー場に限らず、エリア全体の観光マーケティングに資する取組として、全道への横展開は可能と推察。